保育エピソード	1歳児 [redacted]	記録者 [redacted]
11月19日	「えっ？　とぅも？」	
教育・保育課程（一部抜粋）		
11月	○生活の流れがわかり，保育教諭や友達と一緒に，全身を使って遊ぶことを楽しむ。	
第3週	○保育教諭や友達と一緒に，体を使って遊ぶ楽しさを感じる。 ・異年齢児~~と関わりながら，固定遊具や乗り物・砂場で遊ぶ。~~ の遊びを見たり，真似したり一緒に遊んだりする。	

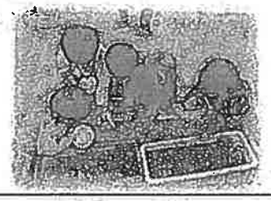
[redacted]　2歳3ヶ月

[redacted]組前のプランターの花の実を集めて，手に持ったりバンバンカーの椅子の下に大事そうに入れたりして遊んでいたところ，[redacted]組の数人が「クモがおったんだって！」と言いながら走って行った。[redacted]も実の皮を剥いでいたが，「クモがおった」という言葉に反応し，
N [redacted]「えっ？　とぅも（くも）？　とぅも　おったんだって！」と近くにいた保育教諭に伝え[redacted]組が行った方へ走って行く。

その様子を見た[redacted]（バンバンカーに乗ったまま）が，[redacted]が行った方に走って行く。保育教諭も[redacted]の後を着いて行き
保育教諭「えっ？クモがおったん？」と言うと
[redacted]「うん　そうよ」と教えてくれる。

[redacted]組がクモを捕まえている姿を見つけると
N [redacted]「とぅも　どこ？」と言って，[redacted]組がクモを捕っている所を身を乗り出して見たり，捕まえたクモが入っているバケツを覗き込んでじーっとクモの様子を見ていた。

その後，乳児用の砂場で遊んでいるとプランターの側でクモを見つける。
N [redacted]「とぅも！　とぅも！（クモ　クモ）」と言うと
R [redacted]「えっ？　くも？」と寄ってくる。
その姿を見て[redacted]が集まって来た。
ぎゅっとつぶしそうな捕まえ方だったので
保育教諭「[redacted]組さんみたいにそーっとよ」と言葉をかけると，上からやさしくつぶさないように捕まえる姿が見られた。[redacted]はカップをクモに被せ，[redacted]や[redacted]もカップを持って集まるが，直接触るのは怖いようで[redacted]が捕まえる様子を見ていた。



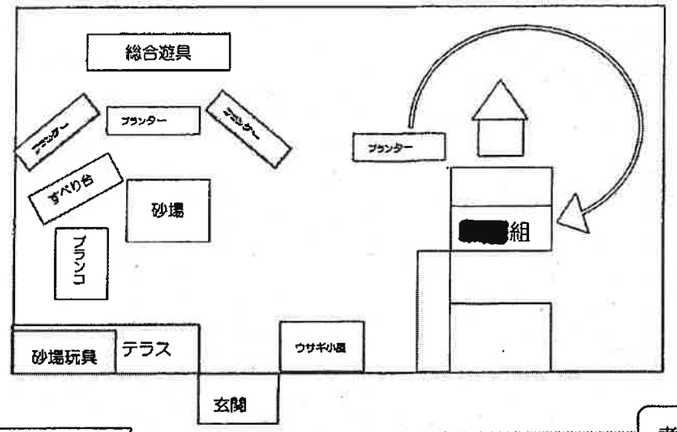
<活動を振り返って>

N [redacted]は虫が好きで，春はテントウムシやダンゴムシ・アリを集め，秋には年長児の虫取りの様子を見て，自分も網を持ち，年長児に着いてバッタやトンボを追いかけたり，捕まえた虫を見せてもらったり，保育教諭や友達と一緒にバッタを探して捕まえたりすることを楽しんできた。

花の実を剥くことに集中しているように思えたが，周りの様子を敏感に察知し興味のあることなので，行ってみようと思い行動したことから，感じる・気付く力やうごく力が育っている。今までの経験から年長児に着いて行くと虫が見られたり捕まえたりすることができると考えたのだろう。

また，その姿を見ていた3人も，友達がしていることに関心がでてきて，遊びを共有するようになり，楽しそうな遊びをしていると次々と集まってくる姿を見て仲間意識が育っていると感じる。

その後，自分で捕まえた虫を見て「しんどるよ」「しんでないよ」と直接的な体験を通して命をもつものの存在に気付いた言葉を発している。「そーっと捕まえるんよ」と言葉をかけることで力の加減を考えている様子が伺える。[redacted]組がいたわり大切に捕まえている様子を見たことが，学びにつながっている。



園内カンファレンス

感じる・気付く力

・実を集めて遊んでいたが，[redacted]組の「クモおったんだって」という言葉に反応し，興味をもって見ている。[redacted]組のクモを捕まえている姿を身を乗り出してじっくり見ていたことで，今度は自分が捕まえてみようとし，自分が見つけたクモをつぶさないようにやさしく捕まえる。
・[redacted]組の声や走って行く姿からクモ探しに興味をもつ。
・「クモ」＝「虫」の言葉が結びつき，自分の今までの興味関心にもつながり，周りの子の行動にもつながっている。

考える力

・[redacted]組がクモを捕まえている様子を見た経験から後日，自分もクモを見つけて捕まえようとしている。
・[redacted]組のしていることを見て学び，次はその知っていることを保育教諭の言葉がけで自分もやってみる。
・保育教諭の「そーっとよ」という言葉がけにより，[redacted]組が捕っているように真似てみる。
・捕まえたクモを入れるために，カップを持ってくる。

やりぬく力

・クモを見つけて捕まえることを楽しみ，自分でクモを探して見つけ捕まえた。
・工夫してクモを捕まえる。

うごく力

・[redacted]組の言葉を聞いて，[redacted]組を追いかけていく。
・[redacted]組の様子を見てクモを捕まえようとしたり，保育教諭の「そーっとよ」という言葉がけによりやさしくつぶさないように意識して手や指先を使ったり加減したりして遊んでいる。
・「見る」から自ら捕まえたい思いへとつながり，保育教諭の言葉がけにより，集中し考えてクモを捕まえようとしている。

人とかかわる力

・保育教諭に「とぅも　おったんだって」と聞いたことを伝えて思いを共有している。
・クモがいたことを喜び保育教諭や周りの友達に伝えようとしている。
・[redacted]が「とぅも　とぅも」と言っている所へ「え？　くも？」と周りの子が寄って行く。
・クモを通して他の子と共感している。

気付いたこと

・自分の興味のあることなら，他児の言葉や様子に反応して興味を深めたり，幅を広げたりすることができ，自分で「やってみたい！」「やってみる！」という姿につながる。また異年齢児の姿から学ぶことは多い。
・一人が興味をもつことにより，周りの子の興味や関心も広がっていく。

今後の遊び（環境構成・保育教諭の関わり）

・[redacted]は登園時に，母親と離れにくい日もあるが，「外へ虫取りに行こうね」と好きな遊びに誘うと，見通しがもて，「ママ　いってきます」と笑顔で離れられるようになっている。一人一人が日々楽しい経験を積み重ね「今日は何して遊ぼう！」「明日も虫取りをしよう！」など，遊びの見通しがもて，園に来ることが楽しくなるような言葉がけや遊びの環境構成していく。
・異年齢児の遊びを見たり，一緒に関わったりできる朝の外遊びの時間を大切にし，異年齢から学び，同年齢ではできない遊びの経験ができるようにする。